

質 問 回 答 書

2023 年 8 月 10 日

「(案件名) モンゴル国自然災害に対する事前防災投資促進に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))」

(公示日:2023 年 8 月 2 日/調達管理番号:23a00351)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	入札説明書 13 頁 第 2 章 特記仕様書 第 4 条 調査実施の留意事項 1. 調査対象	「ロングリスト(15~20 件程度)」とありますが、これは 4 分野の合計と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおり、4 分野の合計となります。1 分野あたり4~5件程度を想定しております。
2	入札説明書 15 頁 第 2 章 特記仕様書 第 5 条 調査の内容 1. 調査期間・現地渡航回数 および 入札説明書 25 頁 第 3 章 技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成に係る要件 (2)業務量の目途	現地渡航回数につきまして、15 頁では「業務従事者 1 名あたり最大 2 回を想定している」とありますので、最大で延べ 6 回を想定しているものと理解しております。 一方、25 頁では「現地渡航回数:延べ 3 回」とあります。 6 回か 3 回、どちらが正か御教示をお願いいたします。	失礼いたしました。延べ 3 回が正となります。 なお、15 頁は以下の通り訂正します。 「業務従事者 1 名あたり 1 回を想定している」
3	入札説明書 17 頁 第 2 章 特記仕様書 第 5 条 調査の内容 5. 建築物の構造物対策に係る情報整理・分析	「公共性の高い集合住宅」につきまして、集合住宅は民間ですが、この「公共性」とは、災害時の拠点機能を有するという捉え方でよろしいでしょうか。	「公共性の高い集合住宅」とは、高級住宅地のマンションではなく、一般市民が入居できるマンション等の建物を対象とすることを想定しております。 公共性についてはご理解のとおりです。

4	<p>入札説明書 25 頁 第 3 章 技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成に係る要件 (3)業務従事者の構成</p>	<p>「防災(河川、都市排水)」の格付の想定がございましたら御教示をお願いいたします。</p>	<p>4号を想定しております。</p>
5	<p>入札説明書 27 頁 第 3 章 技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成に係る要件 (8)安全管理</p>	<p>「尚、冬季(10 月～3 月)は、トラブル発生時の孤立を避けるため、2 台での移動とすること。」とありますが、業務従事者 3 名以下で冬季に車移動する場合、1 台分の経費は本見積とし、もう 1 台分の経費(ガソリン代、ドライバーの日当・宿泊料含む)は別見積とするという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘の個所は地方都市間の移動を想定した対応であり、今次調査で主にウランバートル市内を対象地とする場合、車両 2 台で移動すべき調査行程は想定されません(紛らわしい記載となり申し訳ありません)。 なお、本調査では、管轄省庁や業務従事者の専門が異なる施設等への移動を効率的に実施できるよう、各専門家が個別に調査工程を組むことも想定しております。また、車両関連費は、ドライバーの傭人費及び燃料代等を対象としており、日当・宿泊料は想定しておりません。</p>

以上